

沖縄総合事務局 広報誌／第387号

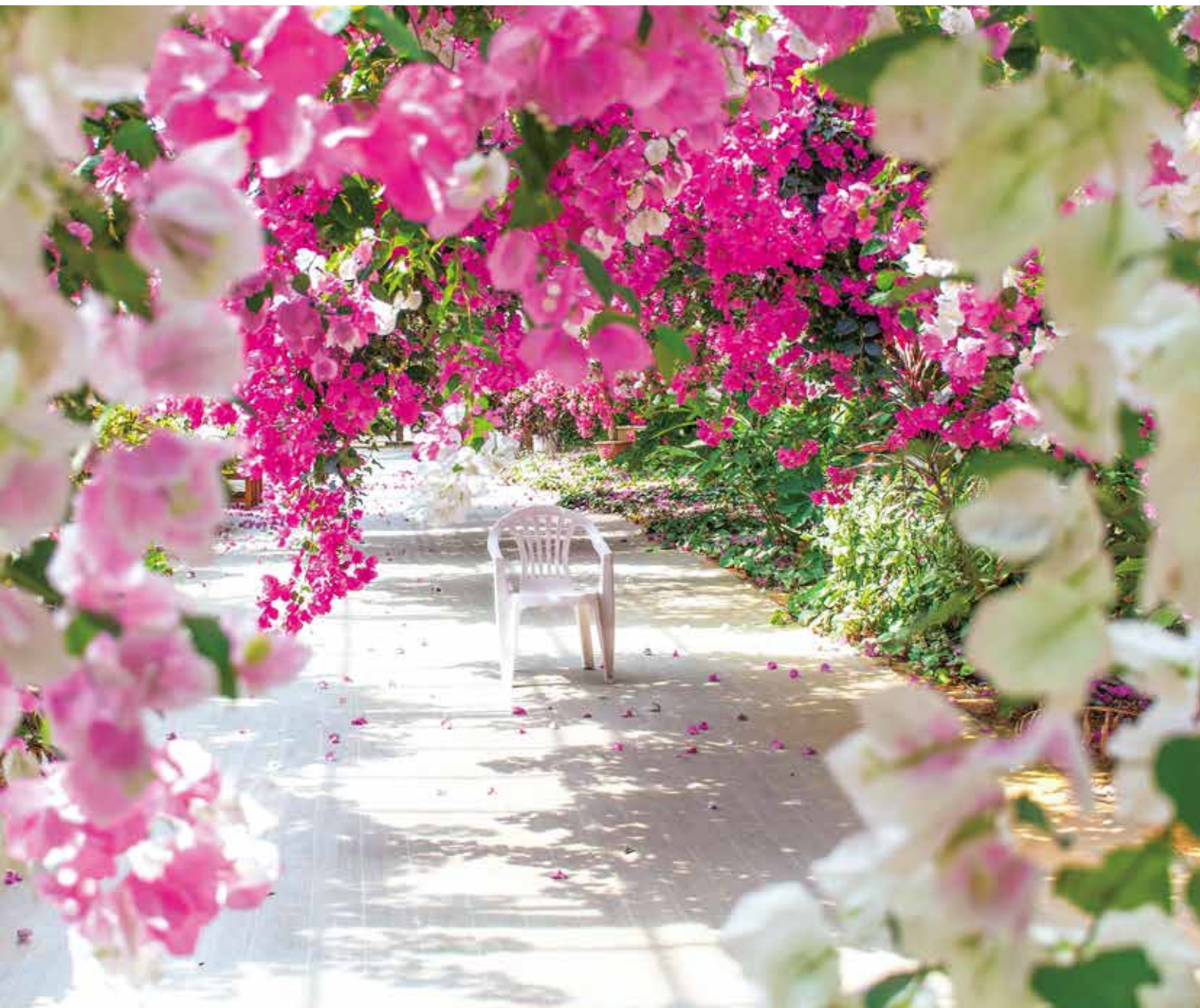
むりぶし Muribushi

むりぶし
群星

1月2月号 2020

Jan-Feb

隔月発行



新対 春
談

入域観光客1000万人時代の沖縄観光を展望する

特集
1

令和元年度豊かなむらづくり全国表彰事業において「伊江村字西江上区」が天皇杯を受賞しました

特集
2

**「7th沖縄大交易会2019」開催
～いいね！AWAMORI展、コラボしたい！沖縄の素材展～**

- 1 年頭のご挨拶 内閣府沖縄総合事務局長 吉住 啓作
- 2 新春対談 入域観光客1000万人時代の沖縄観光を展望する
- 6 特集 令和元年度豊かなむらづくり全国表彰事業において「伊江村字西江上区」が天皇杯を受賞しました
- 8 特集 「7th沖縄大交易会2019」開催
～いいね！AWAMORI展、コラボしたい！沖縄の素材展～
- 10 防災の話 シリーズ2～地震のしくみ～
- 12 省エネ最前線 ～省エネで経営力アップ～ Vol.3 小売業編
- 14 仕事の窓1 国有財産の最適利用による地域連携の推進
- 15 仕事の窓2 独占禁止法教室
仕事の窓3 自動車検査員を目指して！
- 16 仕事の窓4 バリアフリー教室in那覇バスターミナル!!
- 17 仕事の窓5 琉球泡盛テロワールプロジェクトの取組状況を報告します
仕事の窓6 「沖縄地域スマート農業サミット・南大東村現地検討会」を開催しました
- 18 仕事の窓7 那覇港国際クルーズ拠点整備事業起工式を開催
- 19 仕事の窓8 令和元年度下請取引適正化推進講習会を開催しました
仕事の窓9 「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」内閣府沖縄総合事務局長賞等を授与！
- 20 仕事の窓10 令和元年度伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰式及び
伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰伝達式を開催しました
お知らせ 首里城火災の影響を受ける事業者の皆様からのご相談をお受けいたします
- 21 内閣府だより 「首里城復元のための関係閣僚会議」
衛藤大臣 首里城火災現場視察
「かりゆしウェア」テキスタイルデザインコンテスト2019 開催

詳しくはこちら
<https://www.okinawa41.go.jp/>

表紙の写真は、内閣府で開設している、沖縄の魅力を発掘・発信する総合サイト「OKINAWA41」における『知らなかった沖縄、とっておきの沖縄2』フォトコンテスト最優秀賞作品です（撮影場所はユートピアファーム宮古島）。
 本サイトでは、フォトコンテストの開催、レポート記事の配信などを行っていますので、ぜひご覧ください。



表紙写真
 島一番の特等席



年頭のご挨拶

内閣府沖縄総合事務局長 吉住 啓作

新年あけましておめでとうございます。

年頭の挨拶の前に、昨年発生しました首里城正殿における火災について一言申し上げたいと思います。沖縄の皆様が大切にしてきた、沖縄の皆様の誇りとも言える極めて重要な首里城の多くの施設や貴重な文化遺産が焼失したことは大変残念であるとともに、とても悲しいことでした。沖縄総合事務局としまして、関係機関等と連携の上、沖縄県や地元の方々のご意見を伺いながら、再建に向けて全力で取り組むとともに、観光面でも、きめ細かな対応を行ってまいり所存です。

昨年 7 月に着任し、漸く半年が経過しようとしています。沖縄に赴任して感じたことは、観光で訪れる人が増え、活気に溢れているということです。ご案内のとおり、昨年度の観光客数は、1000 万人の大台を超え、過去最高を記録しました。特に、アジアからの観光客が増え、沖縄とアジアとの距離が一層近くなっていると感じます。本年 3 月末には、那覇空港第 2 滑走路の供用開始が予定されています。この供用開始により、沖縄とアジアはもとより世界各国との距離がより一層近いものになると期待されます。また、令和 4 年の日本復帰 50 周年を目前に控えるとともに、次期沖縄振興計画の策定に向けた議論が更に佳境に入ってくるなど、本年は、沖縄にとって正にターニングポイントの年、勝負の年になるものと思っています。

昨年の着任以来、私が取り組んでいる仕事の一つとして、沖縄県内の市町村訪問があります。この取組は、市町村長からその地域の課題や要望などを直接お伺いするものです。特に、離島については、有人離島のすべてを訪問するとともに、役場のある離島についてはその全てに宿泊し、首長と意見交換をすることとしています。まずは離島、そして本島北部の市町村訪問から始め、その後、本島の中・南部の市町村に徐々にエリアを広げています。こうした取組によって得られた課題や要望等にかかる情報は、沖縄総合事務局内はもとより、内閣府沖縄担当部局等に適宜共有していますが、今後とも、沖縄総合事務局が地域に役立つパートナーとなるよう、引き続き徹底した現場主義に立って、仕事に取り組んでまいりたいと考えています。

終わりに、新春を迎え、沖縄総合事務局が沖縄県民、ひいては国民の期待に応えられるよう、職員一丸となり、日々の仕事に誠心誠意取り組んでまいりをお誓いするとともに、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、私の年頭の挨拶とします。

入域観光客1000万人時代の 沖縄観光を展望する



- 株式会社前田産業ホテルズ代表取締役社長 前田 裕子
(沖縄振興審議会専門委員会 委員)
- 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長 下地 芳郎
- 沖縄総合事務局次長 仲程 倫由

沖縄のリーディング産業である観光について、第一線で活躍する、下地氏、前田氏を迎え、入域観光客 1000 万人時代の沖縄観光の課題と展望についてお話を伺いました。

一 沖縄観光1000万人時代

仲程 2018年度の入域観光客数が目標としていた1000万人を超え、沖縄観光は1000万人時代を迎えました。これまで、官民が協力しながら様々な取組が行われてきましたが、下地さんはどのように感じられていますか。

下地 1975年、海をテーマとした沖縄国際海洋博覧会を機に沖縄の観光が本格的にスタートしました。その後、1992年の首里城の復元で新たに文化がテーマとして加わり、海と文化という2大テーマで取り組んできたところです。また最近では、MICEといったビジネスを目的とした、新しい観光地としての沖縄も認知度が高まってきています。それは、沖縄振興特別措置法に伴う制度的な措置や一括交付金など官民あげた取組による成果だと思っています。

仲程 特にこの5、6年はインバウンドの急増などで、沖縄への観光客がこれまで以上の早さで増加していると感じます。

下地 まさに、外国人観光客の急激

な増加は、ここ数年の特徴です。それは、海外からのLCCなどの格安路線の就航、大型クルーズ船の寄港、円安、ビザの緩和など様々な要因が重なった結果だと思っています。

仲程 前田さんは、北部でホテルを経営されており、また名護市観光協会の理事長も務められています。最近の沖縄観光の状況、そして北部地域の観光の現状をどう見えていますか。

前田 2002年の沖縄美ら海水族館の開館が大きな契機となり、多くの観光客が北部を訪れるようになりました。

また、インフラ面というと、北部への移動手段として、空港から本部町、今帰仁村までのバスの直行便も運行するようになり運転の出来ない観光客や初めて沖縄を訪れるビギナーの方にも便利になってきたと感じています。

一 沖縄観光の抱える課題

仲程 観光客1000万時代を迎えた沖縄観光が今後も自律的に成長し、国際的なリゾート地として発展して行くためには乗り越えなければならぬ様々な課題があると思います。ハード・ソフトの両面から、今後どのようなことが必要とお考え

でしょうか。

下地 ハード面の課題としては、今年、那覇空港第2滑走路の完成や2022年度には那覇港に、第2クルーズバースが完成しますが、目的地までの2次交通は早急な対応が必要でしょう。

ソフト面では、観光収入である県内の消費額の増加が課題であり、今後、滞在日数や土産品等の販売の増加が必要でしょう。

観光人材の確保

仲程 沖縄観光の質を更に高めるためにも、観光に携わる人材の確保、育成が大変重要だと思います。沖縄観光の人材の現状と育成の方策についてもお願ひします。

下地 沖縄の観光が発展するためには、産業を支える人材の育成、活用、強化の視点は非常に重要であり、特に次の3点が重要だと考えています。まずは、家庭内や教育現場での観光教育の徹底。観光がなぜ沖縄に必要なのかをしつかり教えることだと思います。

次に、高度な観光人材育成の強化。理論だけでなく、より実践的な、例えば、ビックデータの解析ができるような高度人材育成などが必要だ

と思います。

最後が、社会人の学び直しの重要性。変化が激しい時代で、かつて学んだことが役に立たないこともあります。そのため、観光産業のみならず幅広い産業の方々が、経済や経営、ホスピタリティの在り方など、幅広い分野で学び直すことが重要だと思います。

前田 私のいるホテル業界でも、現場を動かす管理職クラスは、日々、時代の変化に対応することを求められています。どうやって人の心をつかんでいくかといった、マネジメントやマーケティングなどのビジネススキルを磨いていくことは非常に重要です。

また、観光業界で働く我々が、あこがれを持っていただくことも重要です。私は、よく、新3Kと言っているのですが、「きちんとしている」「格好いい」「給料・休日がいい」の3つを目指しています。

「きちんとしている」というのは、法令遵守。食品の安全管理はもちろん、雇用・就労環境がちゃんとしていること。「格好いい」というのは見た目の問題ではなく、客のニーズを察する力など、人間力を磨くこと。「休日・給料がいい」というのは最も難しいのですが、生産性向上や働き

方改革などで社員にどのように還元していくか、マネジメントを行う側の課題だと思っています。

仲程 若い人たちが、観光業界に就職したいという希望を持てるような状況になって欲しいですね。

下地 私が会長としての目標の一つに、観光人材の表彰制度の確立があります。今までも、社内で優秀な社員を表彰するというものはありましたが、それはあくまで社内に限られるものです。観光立県という以上、沖縄全体で評価制度を確立し、観光業界の地位を高めることが大切。裏方まで含めた幅広い人たちに脚光があたるような制度を構築していければと考えています。

観光による地域活性化と住民生活への配慮

仲程 最近では、観光客の増加が、地域の活性化に貢献していない、地域経済の発展に結びついていないという話も聞かれますが、ご意見をお聞かせ下さい。

下地 県内外の企業も含めて、観光に携わるプレイヤーが多様化してきたことも要因でしょう。観光客のニーズに 대응するためには県内の企業だけでは対応できず、県外、海外の企業

の持っているノウハウ、また、食材などに頼らざるを得ない状況もあります。二次産品にしても土産品にしても、県産品の普及・拡大が十分に図られていないことが、県内企業が観光の効果に十分に感じられない原因だと思います。県内の農林水産業、製造業、また地元の商店街も含めて、県内のプレイヤーがより連携をし、それぞれのスキルや製品・サービスの強化を図ることで、県内の供給率を高め、県内の企業、地域が観光の効果を実感できるような仕組みづくりが必要と考えます。

前田 ホテル業界では、地域あつての観光業という考えから、地域とコラボした料理を出すなど、地元品を使う意識が高まっています。一方で量の問題から、県外品も使わざるを得ない状況もあります。

また、地域の活性化には、観光地づくりではなく、生活する住民のための快適な地域づくりも重要だと思います。何か特別なものを作ることではなく、清潔なトイレや、休憩するベンチ、わかりやすい案内板など基本的なことが重要です。地元の住民にとって過ごしやすい地域づくりが、観光客の満足度も高め、それが観光のもたらす効果を高めることに



前田 裕子

株式会社前田産業ホテルズ代表取締役社長。1989年にプリンスホテル(株)の勤務を経て、1993年に(株)前田産業入社。ホテルマハイナウェルネスリゾートオキナワの管理部長、常務取締役などを歴任。沖縄県観光審議会の委員や、内閣府に置かれた沖縄振興審議会専門委員会の委員、また、名護市観光協会の理事長。2006年より現職。

つながっていくと考えます。

仲程 観光客の増加は、地域の活性化だけでなく、時には地域住民の生活等に影響を与えることもありま
す。最近、オーバーツーリズムという言葉も聞かれるところですが、観光客の増加による地域住民の生活への影響についてどう感じていますか。

下地 観光客の増加により県民生活に影響が出ていることは沖縄県の住民意識調査の結果からも明らかです。しかし、そのことで沖縄全体がオーバーツーリズムであると考えていることは、誤ったメッセージを届けてしま
うことになるので注意が必要です。その上で、専門家の中で示されている定の対策、例えば、ITを活用し、観光客や観光地の分散を図る方法や、一部については時間帯や曜日によって規制を行うなど、様々な対策を地

域ごとにしつかりと行うことが必要です。そうすることで十分に解決できる問題だと思っています。

北部の秘める可能性

仲程 北部地域の発展は県全体の振興からいっても大きな課題であり、観光の点からみると、本島中南部、宮古、石垣に比べて、これからという部分があると思っています。北部地域の観光の現状と今後の振興についてどう考えますか。

前田 沖縄美ら海水族館ができて、北部を訪れる観光客は急増しましたが、その全てが北部に滞在しているかというはまだまだです。しかし、2025年の開業を目指したテーマパークの建設構想もあり、開業による周辺への波及効果にも期待しています。

今、北部には民間企業の観光施設や店舗、多様な形態の宿泊施設も増えており、それぞれの個性を活かして集客されています。しかし、それぞれが点で頑張っている状況を、北部全体という面で捉え、それらをどう結び付けるかの視点も重要でしょう。

今後、本部港にクルーズ船のバースが建設予定です。また、北部は世界自然遺産登録も目指しており、登

録されたら自然を楽しみたい欧米の富裕層がクルーズ船で訪れるなど客層にも多少の変化が出てくるのではと考えてます。

また、北部に空港の整備も必要でしょう。例えば、自然だけを楽しみたい場合は北部に直接入って満喫するなど、観光客の過ごし方の選択肢を増やすことにもつながります。最近では、休暇中に旅先で仕事をするワーケーションという新しい働き方がありますが、それを北部で行ってもらう取組も行っています。北部の自然を楽しみながら、仕事をするという、新しい北部観光の在り方も滞在日数を延ばすことにつながると考えます。

下地 2021年からは、欧州のクルーズ会社が、県内離島を巡るクルーズ旅行の提供を始めます。約180名乗りの小型船で、久米島、座間味などを周遊し、船が着岸出来ない離島でも、小型ボートで上陸し、探検クルーズを行うものです。

本部や国頭、伊平屋、伊是名も含めて、ボートが着けるエリアがあれば、そこから上陸して探検することができる。探検クルーズ型というのは今後、大きな可能性を秘めていると感じました。

仲程 まさに北部にはぴったりです



仲程 倫由

沖縄総合事務局次長。1983年に総理府入府後、内閣府政策統括官(沖縄担当)付参事官(沖縄総合調整担当)付企画官、内閣府大臣官房参事官(総務課担当)、沖縄総合事務局総務部長などを歴任。2015年より現職。

ね。北部はテーマパークと、世界自然遺産、本部港のクルーズと3つの大きな流れがあるので、大きな可能性を感じますね。

よみがえれ！首里城

仲程 昨年、首里城正殿が火災により焼失するという非常に痛ましい出来事がありました。沖縄県民の誇りであり、観光の拠点でもある首里城正殿の火災による観光への影響やその対応、そして再建への思いをお聞かせください。

下地 首里城が焼失したことは、非常に残念な思いが強いです。一方で、沖縄の観光振興という視点では、県民、観光客も含めて、改めて首里城の意義を再確認した上で、一刻も早い再建が必要でしょう。沖縄全体の観光の視点では、減少にはつなが



下地 芳郎

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長。1981年に沖縄県入庁後、沖縄県香港事務所所長、沖縄県文化観光スポーツ部観光政策統括監などを歴任。2013年に沖縄県庁を退職。同年、琉球大学観光産業科学部観光課学科教授に就任。2018年より、国際地域創造学部大学院観光科学研究科教授に就任。2019年より現職。



首里城再建に向けた
キャンペーンロゴ (OCVB 提供)

縄に來てもらい、
首里を訪れても
らうことに優先し
て取り組んで行
きたいと思ってい
ます。中長期的
には首里城正殿が

ていません。一方で、首里城及び首里近辺への観光客誘致は大きな課題と考えます。そうした状況の中、関係機関と議論を重ねながら、対策に取り組んでいるところです。また、旅行業界からも首里城そして沖縄を応援するキャンペーンをしてほしいとの要望もあり、昨年11月に、「よみがえれ！首里城」という、緊急キャンペーンロゴマークを発表しました。首里城正殿は残念ながら焼失してしまいましたが、首里近辺にはまだまだ多くの観光資源があり、まずは沖

焼失したことにより、沖縄の魅力が下がらないように、国内外への沖縄の多様な文化の魅力の発信に取り組んでいる最中です。

前田 私にも心ばかり穴が開いた思いでした。しかし、今回のことは、沖縄だけでなく、県外や世界中の方にとっても首里城への強い思いがあることを再認識する機会にもなりました。

復元はもちろん大事ですが、耐震や防火なども重要だと感じています。そして、もっと身近に感じられるような造り方、時代に合った形での再建を望んでいます。

下地 今の首里城正殿は見せるための施設です。それは意義があったことですが、今後、再建していく際には、もっと実用的に、使うための機能も必要と感じています。新しい時代には、かつてのような、外交、政治、文化の拠点としての首里城の姿も必要だと個人的には感じています。

これからの沖縄観光の展望について

仲程 入城観光客が1000万人時代を迎え、質、量ともに更にその上を目指していく沖縄観光の今後の展望についてお聞かせ下さい。

前田 私の夢は、自然と昔ながらの沖縄が残る「北部」という地域を丁寧大切に育てていく事です。発展を失速させずに、経済的にも情緒的にも先々を見据えた観光地形成していく事や、それに対応していく事が観光業界に携わる我々の使命だと思っています。

下地 観光は平和へのパスポートという考えがあります。世界の人たちが集う、交流をする場所が優れた観光地であるということを理念として持っていたと考えています。沖縄の島々は、それを実現するための十分な可能性を秘めています。

一方で、世界が求めているSDGs（持続可能な開発目標）という視点でみた場合に、多くの観光客を受け入れたらいいだけの時代は終わりました。「住んでよし、訪れてよし」という基本に対して、「受け入れてよし」といった、観光客を受け入れることでさらに地域が活性化することが必要でしょう。経済効果もそうだし、外国人観光客との交流による教育的効果など、観光の持つ力をフルに発揮できる地域を目指すことがとても大切です。沖縄観光が1000万人時代を迎え、次は2000万人時代ではなく、これ

までの量を中心に据えた考えから多様な視点での観光地を目指すことが必要でしょう。

2020年は大きな節目の年です。サミットの開催、首里城跡の世界文化遺産登録から20年が経ち、更に、世界自然遺産への登録が期待される年でもあります。首里城の火災という大きな出来事がありました。それを乗り越えて、大きな進歩の年にしていくという気持ちを、県民が等しく持ち取り組むことで、沖縄の観光はより強いものになるでしょう。



出典：OKINAWA41 (<https://www.okinawa41.go.jp/>)

令和元年度豊かなむらづくり全国表彰事業において「伊江村字西江上区」が天皇杯を受賞しました

農林水産祭の表彰行事の二部門（むらづくり部門）として実施されている「豊かなむらづくり全国表彰事業」において、「伊江村字西江上区（にしえうえく）」が、農林水産大臣賞、さらには全国で最上位の天皇杯を受賞しました。

これを受けて、11月14日に明治神宮会館で開催された農林水産祭式典において、江藤農林水産大臣から、「伊江村字西江上区」を代表して知念区長に表彰状と天皇杯が授与されました。また、11月25日には、沖縄総合事務局において農林水産大臣賞伝達式と天皇杯授与報告が行われました。

「農林水産祭」は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善と経営発展の意欲を高めることを目的として昭和37年から実施されています。「むらづくり

部門」は、農林水産祭の表彰行事7部門の一つとして昭和54年に設けられたもので、農林水産業の振興を中心に、生活、文化な

農林水産祭での受賞



（会場：東京都渋谷区明治神宮会館）

沖縄総合事務局での農林水産大臣賞伝達式と天皇杯授与報告



（前列中央3名左から、島袋 伊江村長、知念 西江上区長、並里 元組長。後列右から、名嘉真 区書記、山城 元区長）

どを含む幅広い地域活動を展開し、地域の活性化を図っている地域・団体を表彰しています。

「伊江村字西江上区」は、営農や生活面で様々な条件不利を抱えた離島における農業用水確保への努力や、地域行事による伝統文化の継承など、地域の発展に向けた様々な努力や成果が高く評価され、今回の天皇杯受賞に至りました。今号の特集では、この「伊江村字西江上区」の取組を詳しく御紹介するとともに、受賞に当たった知念区長の喜びの声をお伝えします。

1. 西江上区の取組について

① 西江上区の概要

西江上区のある伊江村は、沖縄本島の本部半島から北西9 kmの洋上に位置する周囲22・4 kmの島で、人口4,567人（令和元年5月31日現在）の1島1村です。西江上区は、伊江島の中央やや北側に位置し、人口約670人、農家戸数約140戸で、島の中でも農業が盛んな地区です。

伊江村の位置



② 村づくりの特色

伊江村には、離島苦、水不足問題、戦災、基地問題などの苦境を耐え忍んできた歴史があり、根性と忍耐強い島民気性は、「イーハッチャー」（負けん気性、進取の気性）という言葉で表現されています。西江上区では、先人たちの「イーハッチャー」気質を継承しつつ、区民が一体となって創意工夫を重ねながら、農業の振興や伝統芸能の継承に取り組んでいます。

③ 農業用水確保の取組

伊江村では、保水力の非常に乏しい珊瑚石灰岩土壌が広がっていることや、6～10月にかけて台風襲来の頻度が高いことから、干ばつや台風など天候に左右される不安定な農業を強いられてきた歴

史があります。

農業が主産業の島で、農業による生活が成り立たず、人口流出が進んでいくことが予想されたことから、西江上区をはじめとして、地域・区・村が一体となって立ち上がり、「天候に左右される農業からの脱却」を目指した取組が進められてきました。その結

果、公共事業により豊富な農業用水源が確保されたことで「水あり農業」への展開が可能になり、現在では、さとうきび、花き、葉たばこ、野菜の生産や畜産が営まれています。

④ 伝統文化継承の取組

伊江村では、国の重要無形民俗文化財である「伊江島の村踊」をはじめ、島独特の民俗芸能が数多く保存されていて、芸能文化の島として注目されており、現在でも、村内各地区が輪番制で、8年に一度、村踊を披露しています。これに加え、西江上区では、区内の若手で構成される青年会が、村踊を継承していくことを目的として、2年に一度開催される敬老会において村踊を演じています。

2. 知念区長のコメント

昭和54年以前は、農業用水を満足に確保できず、農業生産額は1戸当たり160万円程度と将来は過疎化することが簡単に予想できる地域でした。

この現状を打開するため、儲かる農業、魅力ある農業を目指し、区民が一丸となって水確保事業などの推進に取り組み、昭和55年に西部かん水組合を発足させるなど、伊江村でかんがい農業を先駆けて行いました。西江上区の農家所得が増加することにより、かんがい農業の重要性を島全体に浸透させることができました。

現在では、担い手も増え、地域の牽引役となり、新技術導入も図られています。農業振興が進むことにより、牛肉や黒糖、小麦、紅イモ、ピーナツなどの特産物が作られ、6次産業化にもつながっています。

平成15年から始めた修学旅行を主とした民泊は、現在では村全体に広がり、年間300校、4万人を受入れるまでに拡大し、また、修学旅行生が地域住民と

共同で海岸の清掃活動に取り組むなど、都市と村の交流を通じて農村の魅力を発信しています。

こうした取組におけるグリーハッチャー精神（負けん気性、進取の気性）が認められたことが今回の受賞の理由であり、評価されたものと思っております。この賞を契機に、地域住民の農業所得の向上と、西江上区の更なる発展を目指し頑張っていきたいと思

います。

葉たばこの栽培風景



（正面は伊江島のシンボルである城山（ぐすくやま））

輪ぎくの栽培風景



（平張施設における栽培）

伊江村の伝統芸能



（区民による村踊の披露）

区民の喜びの集合写真



農林水産部農村振興課

農村活性化推進室

☎098-866-1652

「7th 沖縄大交易会2019」開催 「いいね! AWAMORI展、コラボしたい! 沖縄の素材展」

2019年11月14日・15日にかけて、日本最大規模の「食」の国際商談会となる「7th 沖縄大交易会2019」が開催されました（主催：沖縄大交易会実行委員会）。国内外から、643社のサプライヤーとバイヤーが参加し、3,218件の個別商談が行われました。



7th 沖縄大交易会 2019

当局では、沖縄大交易会併催事業として、「いいね! AWAMORI展」「コラボしたい! 沖縄の素材展」の他、「令和元年度全国・沖縄アジア輸出促進会議」を開催しました。



◆いいね!
A W A M O R I 展

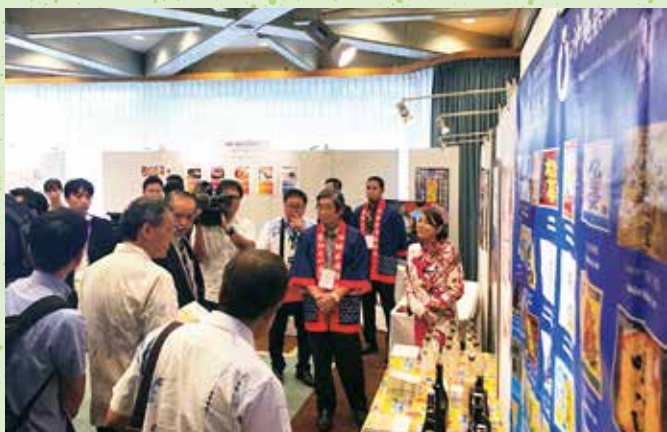
当局総務部調査企

画課では、沖縄県酒造組合、酒造所、沖縄県、関係省庁等と連携し、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を実施し、官民体となつて、県内酒造所の海外販路開拓に取り組んでいます。

本プロジェクトの一環として、沖縄総合事務局及び沖縄県酒造組合は、「いいね! AWAMORI展」を開催しました。国内外のバイヤーに対し、琉球泡盛の製法、歴史などの紹介や試飲会、海外

市場に向けたブランド戦略及び新商品の展示などを実施し、2日間で822名の方にご来場いただきました。

泡盛と食のマリアージュでは、泡盛ジントニックなどの食前酒から始まり、前菜、魚料理、肉料理、甘味までの二連の食と泡盛の組み合わせの好事例について、専門家



いいね! AWAMORI 展

の解説を交えながら紹介し、来場者からは「泡盛と食事のペアリング提案は今後重要だ」という声を頂くなど好評でした。

また、琉球泡盛の価値向上を目指して取り組んでいる県産長粒種米泡盛の製造プロジェクトの紹介では、県産長粒種米泡盛の試飲を実施し、「泡盛のストーリー性がいいね!」という感想をいただきました。

◆コラボしたい! 沖縄の素材展

当局経済産業部商務通商課では、「コラボしたい! 沖縄の素材展」を実施しました。沖縄県産素材のシークワサー、黒糖、アセローラ、もずくの魅力を国内外に発信するため、それぞれの成分や産地などを紹介するとともに、素材を使った商品の展示や試食を行いました。

中でも、黒糖コーヒー（沖縄県産黒糖＋コーヒーパウダー、製造：パウダーフーズフォレスト（株）（名



コラボしたい！沖縄の食材展

古屋市）は、多くの方が試飲され、「沖縄の八つの離島で黒糖が作られ、産地によって風味が違うことに驚いた」「八島の黒糖を使った黒糖コーヒーストリーがあつて素敵」などと称賛の声をいただきました。

また、野菜などを酵素処理単

細胞化技術によりピューレにする「（株）琉球エコプロジェクト（今帰仁村）」、アレルゲンフリー食品を製造する「（有）ダイユウ産業（豊見城市）」など、沖縄の技術を活かした加工食品を紹介しました。

2日間で合計832名が会場を訪れ、「アセローラが沖縄にあるとは知らなかった」「沖縄にこのような加工技術があるとは知らなかった」など様々な声をいただきました。

◆令和元年度全国・沖縄アジア輸出促進会議

沖縄大交易会に併せて開催した「全国・沖縄アジア輸出促進会議」では、経済産業省や中小企業庁、北海道・東北・近畿・中部・中国・九州の各経済産業局、自治体、経済団体など約30名が参加しました。

会議では、秋田県農林水産部農業経済課販売戦略室の加藤は

なゑ氏より、沖縄の地域商社「（株）MIZU TOMI（那覇市）」との連携による秋田県産品のシンガポール展開や、「国際通りのれん街」（那覇市）でのインバウンド向け販売の取組事例を紹介していただきました。



令和元年度全国・沖縄アジア輸出促進会議



「国際通りのれん街」の秋田県ブース

また、沖縄国際物流ハブ機能を活用した地方間連携の可能性について意見交換を行い、沖縄の有する物流・商流機能について理解を深めていただきました。

当局では、沖縄県産品の輸出拡大や、沖縄国際物流ハブ拠点形成に向けて、今後も積極的に取り組んで参ります。

経済産業部商務通商課

☎098-866-1731

総務部調査企画課

☎098-866-0047

防災の話 シリーズ2 ～地震のしくみ～

はじめに

前号では、大規模災害が発生した場合、観光客の安全と安心を確保するための沖縄観光防災力強化支援事業についてのお話をさせていただきました。今回は地震の話です。

日本では、「東日本大震災」や「熊本地震」など大規模な地震が発生しています。沖縄は台風を除けば災害が少ない地域と思っているかもしれませんが、地震の確率は全国と比べても決して低くはありません。ここでは、地震のメカニズムや防災の備えについてわかりやすく説明します。

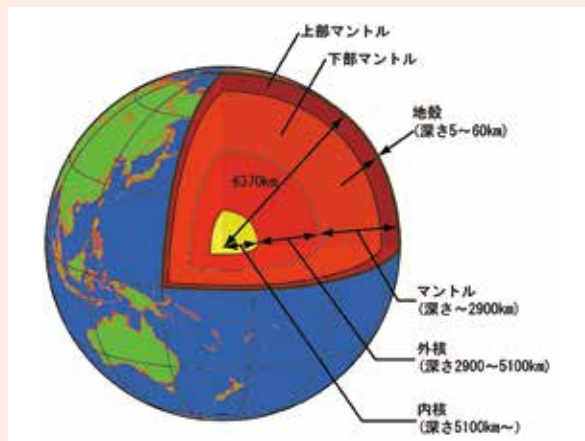
地震のしくみ

みなさんは、地球の内部がどのようなになっているか知っていますか。殻にひびが入った「ゆで卵」を想像してみてください。ひびの入った卵の殻が地球表面のプレートに当たるのです。地球の表面は、十数枚の「プレート」という固い岩石の層におおわれています。プレートは1年間に数センチ、みなさんのつめが伸びるくらいのゆっくりとしたスピードで動いています。

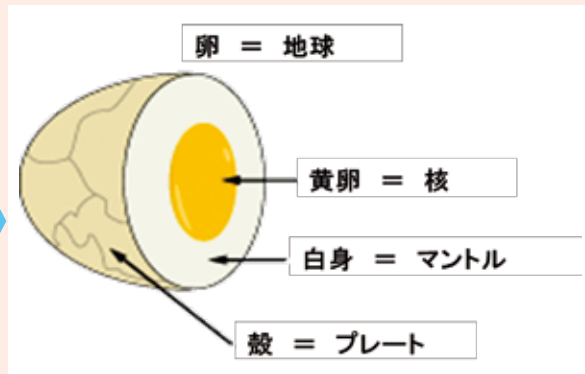
日本列島付近でこれまでに起きた地震の震源を調べると、その多くがプレートとプレートの境界付近にあります。

下の2つの図を見比べてください。不思議なことに気づかれましたか。

地震は世界中どこでも発生しているわけではありません。プレートとプレートが衝突している境界で発生していることが分かったでしょうか。もう一つ、重要なことがあります。日本は大地震（マグニチュード6.0以上）の発生回数が全世界の2割を占めており、近年は「北海道胆振東部地震」や「大阪府北部地震」などが発生しています。日本は世界有数の地震国だということも分かったでしょうか。地震はいつ発生してもおかしくないのです。



出典：気象庁ホームページ



出典：四国地方整備局



出典：神戸市ホームページ



出典：USGS（米国地質調査所）のデータをもとに気象庁作成

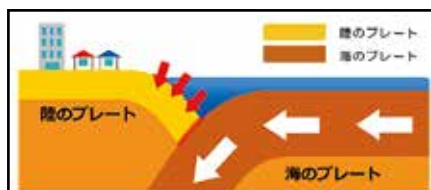
地震は、大きく2つのタイプに分けることができます。

1つ目が、プレートがぶつかり合うところで発生する「海溝型地震」、2つ目が、プレート内部の断層がずれることによって起こる「内陸型地震」です。

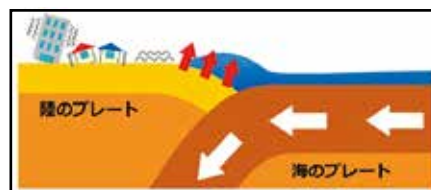
●海溝型地震とは、海溝と呼ばれる海側のプレートと大陸側のプレートが接しているところで起こる地震のことです。



①海のプレートが陸のプレートに沈み込んでいきます。



②陸のプレートは海のプレートと一緒に引き込まれていきます。



③陸のプレートは限界に達し、もとの形に一気に戻ります。このときの揺れが地震です。地震によって海底が一気にはね上がると、海水が持ち上げられて津波が発生することもあります。

出典：仙台管区気象台

●内陸型地震とは、直下型地震・直下地震ともいい、名前の通り内陸部の真下で発生する、比較的震源の浅い地震のことです。

地震が起こったら・・・

大地震などの災害が起きたら、まずは、身の安全を確保しましょう。例えば、丈夫なテーブルの下に隠れ頭を守るなどの行動をとしましょう。慌てて外に出ると、転倒した家具類やガラスの破片などによってけがをする恐れもあります。ある程度揺れが収まったらいつでも避難できるように出口を確保し、避難が必要な場合は、出火の原因となる電気やガスを確認し、近くの避難所に避難しましょう。

避難所は、避難所の種類によって役割が異なります。「指定緊急避難場所」は、災害が発生した場合、命を守るために、その危険から一時的に逃れるための避難場所です。地震や津波などの災害の種類ごとに決められており、公園や頑丈な建物、高台にある広場などが指定されています。

「指定避難所」は、一般的にいう避難所で、災害により住宅が損壊した場合などに、宿泊、食事等の仮の生活ができる場所です。小中学校の体育館や、公民館などの公共施設が指定されています。また、その他に高齢者、障害者、妊産婦など要配慮者向けの「福祉避難所」もあります。

いざというときにどこに避難すればよいか、日頃から、自宅や学校周辺の避難場所や避難所を確認し、どこに避難するのか家族で話し合い、災害に備える必要があります。（※災害時は電気・ガス・水道が止まり商店も閉まってしまうため、食料や水などの備えも大切です。詳しくは、「群星 11 月・12 月号」で紹介していますのでご覧ください。）

また、災害発生時に、家族全員が一緒にいるとは限りません。離れている家族と連絡を取ろうと思っても、災害により電話が繋がりにくい状況になります。東日本大震災や熊本地震でも、災害直後は、電話が繋がりにくく家族の安否確認ができない状況になりました。そんな時に役立つのが、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板 Web171 です。

自分が無事であることを、音声や文字で伝言を残し、家族がその内容を聞いたり閲覧することで、無事かどうかを確認できます。家族が離ればなれで被災したときを考えて、お互いの連絡手段を考えておきましょう。

地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてず適切な行動をとることが重要です。そのためには、地震について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から地震の際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。

まずはできることから始めてみませんか？

知っておきたい防災マーク

避難所に関するマークは、公園や学校など、暮らしの身近なところにあります。緊急時に備えて日頃から防災マークを気にかけてみましょう。



【指定緊急避難場所】
差し迫っている災害の危険から命を守るために、一時的に避難する場所。



【津波避難場所】
津波が押し寄せた時の安全な避難場所（高台など）



【指定避難所】
災害の危険を避けて住民が一定期間滞在し、避難生活を送る施設



【津波避難ビル】
津波警報などが発表された際、高台まで避難するのが困難な場合に緊急的・一時的に避難する施設。

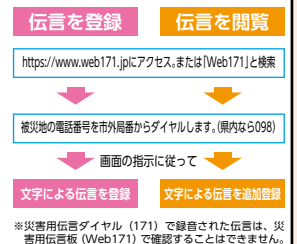


多くの各自治体が提供しているハザードマップを参考に自分の家の周辺や避難所までのルートを防災目線で確認してみましょう。

災害用伝言ダイヤル 171 の利用方法



災害用伝言板Web171の利用方法



【トピックス】地震の大きさ

地震の大きさを表す単位には、長さや重さを表す単位のメートルやキログラムと同じように、震度、マグニチュード（M）、ガル（gal）の単位がよく使われます。同じ地震でもそれぞれの単位で表せますが、表している内容が違います。

1. 震度

震度とは、地震の時に、それぞれの場所の揺れの強さを示す値です。地震の揺れと被害想定は以下の通りです。

地震の揺れと被害想定	震度0	人は揺れを感じない。	震度5弱	家具の移動や、食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることがある。
	震度1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	震度5強	タンスなど重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある。
	震度2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。つり下がっている電灯などがわずかに揺れる。	震度6弱	立っていることが難しい。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。
	震度3	屋内にいる人の多くが揺れを感じ、棚の食器が音を立てることがある。	震度6強	立っていらねず、はわないと動くことが出来ない。重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛び、
	震度4	眠っている人のほとんどが目覚ます。部屋の不安定な置物が倒れる。歩行中の人も揺れを感じる。	震度7	自分の意志で行動できない。大きな地割れや地滑り、山崩れが発生する。

マグニチュード（M）



震度
ガル（gal）

2. マグニチュード

震源そのもののエネルギーの大きさを表す単位です。マグニチュードは震度のように直接観測できないので、各地の揺れの大きさなどから推定されます。値が1違うとエネルギーは約32倍、2違うとエネルギーは約1,000倍になります。

3. ガル（gal）

加速度の単位で、人間や建物にかかる瞬間的な力の事です。地震動の加速度で一秒間にどれだけ速度が変化したかを表す単位で、震度同様、同じ地震でもそれぞれの場所によって違う値を示します。

～省エネで経営力アップ～

Vol.3 小売業編

**快適性を維持し、売上を伸ばす
環境配慮型店舗に取り組もう！**



オフィス・
事務所

ホテル・
旅館・
宿泊業

製造業

飲食業

小売業

運輸業

県内のエネルギー動向 (小売業)

百貨店・スーパーやコンビニエンスストアなどの小売業の販売額は今年度も堅調に推移するなど、県内の景気は引き続き拡大しています。一方、人件費などの高騰により企業収益が圧迫される傾向にあるため、収益力を保つには、電気代などのコスト削減が重要な経営課題となります。特に小売業においては、顧客に不快感を与えないように店舗の快適性を維持するための空調設備などのマネジメントや、商品を魅力的にみせるために明るい照明を活用した売場作りなども売上拡大に資する重要なポイントであるため、売上げを確保しつつも、エネルギーの効率的な使い方（省エネ）をどう実現していくかが非常に重要です。

小売業向けの

省エネ対策

小売業は、コンビニまたは総合スーパーなどの業態や立地条件によっても効果的な省エネ対策が異なるため、各店舗の状況に応じた優先順位の見極めが必要です。今回は、一般的な小売業向け「省エネ」事例をご紹介します。

①ハード面（建物・設備・機器）

大きなエネルギー削減効果が期待できるのが、建物や設備、機器による省エネです。近年、省エネに取り組んでいる事業者は、優先的にLED導入を行い、電気使用量を抑えています。店舗照明のLED化によって、電気代の削減効果のみならず、店舗が明るくなったことでお客様が店の奥まで入り、売上げが増加した事例もあります。また、冷蔵冷凍ショーケースに営業時間外にナイトカバーを設置することで、不要な冷気の庫外流出を防止し、電力消費量を削減した事例もあります。さらに、コージェネレーションシステム（※）を導入し、電気や廃熱を効率よく利用することで省エネを実現する事業者も増えています。

②ソフト面（運用）

せっかく省エネ設備を導入しても、使い方が間違っていたり、保守を怠っていたり、当初の期待通りの効果は見込めません。例えば、店内すべての設備などにチェックリストを設け、徹底した保守・管理・清掃を行ったり、また、冷蔵庫の扉開閉の多い店と少ない店の消費電力の差異をグラフ化して開閉回数を減らす方法を模索する

冷凍冷蔵ショーケースに営業時間
以外はナイトカバーを設置。
冷気の庫外流出を防止し、
電力消費量を20%削減！

お得！

蛍光灯200台をLEDに更新すると
440,172円／年削減！
(80W/台・更新前・36W/台・更新後) ×
200台 × 365日(1年間の営業日数) ×
8時間 × 0.01713円/Wh = 440,172円/年

※コージェネレーションシステムは、電気と熱、2つのエネルギーを同時に生産し供給する仕組みです。現在、主流となっているものは、まず発電装置を使って電気をつくり、次に、発電時に排出される熱を回収して、給湯や暖房などに利用することができるコージェネレーションシステムです。発電の燃料には、天然ガス、石油、LPガス、バイオマスなどが使われています。発電装置としては、業務用として活用されるガスエンジンのほか、ディーゼルエンジン、蒸気タービン、さらに近年は燃料電池も使用されています。

など、店舗毎にエネルギー使用量を抑える方法について積極的に取り組んでいる事例もあります。加えて、店内照明設備の点灯時間や空調設備の運転箇所の見直しを行うだけでも十分な省エネ効果が得られます。

今回の「小売業編」では、令和元年6月にOPENした「サンエー PARCO CITY」（浦添市）の省エネに関する取組をご紹介します。

■取組のきっかけ・背景

サンエー社では、エネルギーは公共の物であり、省エネは企業の義務であると考えているため、お客様の快適性と省エネの両立に取り組んでいます。特に、今回ご紹介するPARCO CITYでは、最大級の省エネを全国に発信するというコンセプトで設計されています。

沖縄の太陽・地熱・地域性を活かしたCO₂削減技術 サンエー浦添西海岸 PARCO CITY



〒901-2123
浦添市西洲 3-1-1
TEL. 098-871-1120

＜主な省エネ対策＞

- ①デシカント空調機による潜顕熱分離システム
- ②太陽光の利用
- ③全国初の振動発電ユニット

■主な取組

PARCO CITYでは、沖縄の地域性を活かした太陽光発電・太陽熱利用デシカント空調機を用いた太陽エネルギー及び地中熱の利用、また多湿外気の温度処理と省エネルギーを両立させる潜顕熱分離空調などのCO₂削減技術の導入を行っています。

①デシカント空調機による

潜顕熱分離システム

沖縄の高温多湿の外気条件下で、高いCO₂削減効果と快適性を両立できるシステムです。外気を除湿して適度な温度帯に冷却することで、室内空調機の冷却負荷を軽減し、空調で使用した冷水を二次利用することによって冷水使用料を軽減しています。また、太陽熱集熱器で温水を製造するなど、快適性と省エネを同時に実現しています。



↑デシカント空調

②太陽光の利用

太陽光も有効利用しています。太陽光発電による店舗内の電力供給のほか、屋上から特殊なダクトを使用して太陽光を直接採光し、店内や駐車場の照明として利用しています。



③振動発電ユニット（全国初！）

自家用車で来店するお客さまが多いことから、1階駐車場内に振動発電ユニットを設置し、このユニットを車が踏むと一時停止線の照明が2〜3秒点滅し、運転手に一時停止を促すシステムを全国で初めて設置しています。



■改善効果と今後の取組

PARCO CITYの省エネの取組結果、CO₂削減効果（想定値）は、年間でCO₂削減量9,493tであり、CO₂排出削減率37.2%を見込んでいます。また、サンエーでは毎月の店長会議で社内での省エネ意識を共有するなど全社員一丸となって取り組んでいます。今後は、省エネ設備などの運用方法を改善し、更なるエネルギー使用量の削減を目指しています。



サンエー PARCO CITY
設計者、設備管理者と記者

○無料の省エネ診断
一般財団法人省エネルギーセンター
によるおトクな支援情報

○省エネのお悩み、
何でも相談
（相談窓口）

○省エネ設備・
機器導入費用
補助支援



～次回予告～

省エネ最前線 Vol.4 製造業編



国有財産の最適利用による 地域連携の推進

No.1



～第37回国有財産沖縄地方審議会を開催～

【財務部】



国有財産沖縄地方審議会の様子

12月2日、第37回国有財産沖縄地方審議会を開催し、2件について諮問しました。

諮問事項の一つ目は、本年6月に出された財政制度等審議会国有財産分科会答申などを踏まえ諮問したもので、二つ目は、当局の国有財産を売払いする場合の審議会への付議基準（面積10,000㎡以上）に該当していることから諮問したものです。

諮問した2件については、審議の結果、諮問どおり処理することが適当と認める旨の答申がなされました。

当局では、引き続き、地域と連携した国有財産の有効活用を図ることによって、地域・社会のニーズに対応できるよう努めるとともに、適正な国有財産行政を進めていきます。

諮問事項1 ～沖縄総合事務局における留保財産^{※2}の選定基準について～

<諮問の背景>

財政制度等審議会国有財産分科会では、未利用国有地のストックが減少していることに鑑み、国有財産の更なる有効活用を図るため、有用性が高く希少な国有地については、定期借地権による貸付けを行うことで、売却せずに所有権を国に留保して、財政収入を確保しつつ、最適利用を図っていくべきであるとされました。

また、留保すべき土地の選定については、地域や規模を一定の目安としつつも、各地域や個々の土地の実情及び特性といった個別的な要因も踏まえて総合的に判断する必要があるとされているほか、留保財産の決定は、国民共有の財産の取扱いに係る重要なものであることから、留保すべきか否かの判断は、国有財産地方審議会では審議の上、個々の財産ごとに決定すべきであるとされています。

<諮問内容>

当局では、財政制度等審議会国有財産分科会の答申などを踏まえ、地域・規模の要件として、那覇市の人口集中地区（DID）^{※3}に所在する面積2,000㎡以上の財産を目安とした上で、留保財産の適否に関する判断基準、具体的には、地域・規模に該当しない財産であっても留保財産とすべき個別的要因（立地状況など）や、地域・規模の要件に該当する財産であっても留保財産から除外すべき個別的要因（接道状況など）について諮問しました。

なお、現時点において、管内には選定基準に照らし、留保財産とすべき未利用国有地はありません。

諮問事項2 ～国頭郡東村字平良に所在する財務省所管の普通財産として引受予定の財産を、『東村多目的運動公園』敷地として売払うことについて～

対象財産（約22千㎡）は、土砂の自然堆積などにより長い年月を経て陸地化した土地であり、今後、東村が多目的運動公園用地として活用する計画となっております。

本計画は、東村の重点プロジェクトの一つとして位置付けられており、今後、村の振興発展に資する拠点施設となることが期待されています。

完成イメージ図



出典：東村

審議会の開催結果、議事録、資料については、当局ウェブサイトに掲載しております。

当局ウェブサイト http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_kokuyuu/chihou_shingi/shingikai

※1 沖縄総合事務局長の諮問機関で、国有財産の管理及び処分について調査審議し、意見を述べる事が可能。

※2 国が所有権を留保し、将来世代に残しておくべき、有用性が高く希少な土地

※3 市区町村の区域内で人口密度が4,000人/㎢以上の基本単位区が互いに隣接し、あわせて人口5,000人以上となる地区



【総務部】

独占禁止法教室

～沖縄市立安慶田中学校に行ってきました～

No.2



公正取引委員会
マスコットキャラクター
「どっさん」



シミュレーションゲームの様子

11月25日、安慶田中学校において、独占禁止法教室を開催しました。
独占禁止法教室では、市場経済の成り立ちから、私的独占、カルテルなどの内容、過去の違反事例について説明をしました。

また、シミュレーションゲームでは、生徒がそれぞれ携帯電話販売店3社の販売店員になって販売競争を体験し、カルテルを行った企業に立入検査を行う寸劇に参加するなど、体験を通して市場における競争の必要性を学びました。



授業の様子

生徒からは、「今日の話を聞いて企業の競争が大事で、競争がないと消費者が損をすることが分かった」「ゲームや寸劇がとても楽しかった」などの意見が寄せられました。

総務部公正取引室では、独占禁止法の役割や意義を理解してもらうため、中学校、高等学校、大学の授業に講師を派遣しますので、お気軽にご連絡ください。

総務部公正取引室

☎098-866-0049



【運輸部】

自動車検査員を目指して！

No.3

令和元年11月21日、自動車検査員を目指す、県内129名の自動車整備士が、沖縄本島・宮古島市・石垣市の3会場にて自動車検査員教習の修了試問にチャレンジしました。

自動車検査員は、国に代わり自動車の安全性等を確認する完成検査（いわゆる車検）を行う事が出来るもので、上記教習を修了した者にその資格が与えられます。

試問の内容は、道路運送車両法や自動車整備に係る施設基準、自動車検査に関する技術基準の理解度を筆記にて試される、非常に難しい内容となっております。

試問の前には、運輸部車両安全課、陸上交通課、陸運事務所整備部門、独立行政法人自動車技術総合機構及び一般社団法人日本自動車機械工具協会の講師が、自らの知識や経験を交えながら、未来の検査員に向けて4日にわたる教習を行います。

試問に合格した者は、新たに自動車検査員としてデビューを果たします。



真剣に受講する受験者たち（自動車整備商工組合 浦添市）

すが、彼らの前には、自動運転技術や衝突被害軽減ブレーキなどに関する省令改正や新技術基準への対応が求められる事となります。
最後に、今回合格された皆様方の更なるご活躍を祈念しております。

運輸部車両安全課

☎098-866-1837

バリアフリー教室 in No.4 那覇バスターミナル !!



【運輸部】

沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者等に対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今年度は、10月10日にバス会社の職員及び障がい者等を対象に、去年開催した那覇バスターミナルにおいてバリアフリー教室を開催しました。

当日は、那覇バスターミナル(株)、旭橋都市再開発(株)、NPO法人バリアフリーネットワーク会議に協力していただきました。

家族や友人と同伴する高齢者や障がい者等への、バス会社等観光に従事する職員のちょっとした配慮が沖縄観光に寄与することや、障がい者とのコミュニケーション方法及び介助方法などについて座学を行った後、バスターミナルへ移動し、車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験を実施するとともに、障がい者等が円滑にバスターミナル内を移動・利用できるか、円滑にバスに乗降することができるか等の検証を行いました。

今回のバリアフリー教室を終えて、参加者から「障がい者の方に親切心で行ったことがかえって不親切になってしまうことがあることを学んだ」「想像することと体験することは全く違うので、このよ

うな機会がもっと増えればよい」「バスの新人研修の一環で受講した。乗務開始したら優しい運転とお手伝いをしたい。」などの感想や意見をいただきました。

沖縄総合事務局としては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っています。



座学



意見交換



円滑移動検証



バリアフリー体験

運輸部企画室

☎098-866-11812



【農林水産部】

琉球泡盛テロワールプロジェクトの 取組状況を報告します

「琉球泡盛用長粒種米の収穫」

No.5

沖縄総合事務局では、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」の取組の二環として、琉球泡盛の醸造に当たり、地域に根ざした原料を使用すること（テロワール）により付加価値を高めるための取組を推進しています。

今回は、令和元年8月に伊平屋村で植付けした、泡盛用長粒種米の生育状況と収穫について紹介します。

泡盛用長粒種米の生産は、県内で数少ない取組のため、生産者の方々も試行錯誤の状態でしたが、台風や病害虫などの影響を受けることなくすくすくと成長しました。



たわわに実った稲



コンバインによる収穫の様子



収穫の状況

そして、11月30日から12月1日にかけて、J A伊平屋支店をはじめ関係者が見守る中、初回の収穫を行うことができました。今後、随時収穫を行うこととしており、収穫した米は、酒造所に搬入され、泡盛の醸造が開始される予定です。

沖縄総合事務局では、琉球泡盛と県産原料米を結びつけることで、生産者の経営安定化と付加価値を高める琉球泡盛の輸出促進を図るため、関係者の協力のもと今後も積極的に取り組んでいきます。

農林水産部生産振興課

☎098-866-1653



【農林水産部】

「沖縄地域スマート農業サミット・南大東村現地検討会」を開催しました

「スマート農業の加速化に向けて」

No.6

農林水産省では、現在、ロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用して超省力化・高品質生産を実現する新たな農業「スマート農業」の社会実装を推進しています。この一環として、今年度から全国69地区で、スマート農業を実証するプロジェクトが開始され、沖縄県では南大東村において「さとうきびの生育情報に基づく精密栽培管理によるスマート農業体系の実証」が進められています。沖縄総合事務局では、本プロジェクト



自動操舵によるスマート農機の実演



シンポジウムの様子

クトに関する情報発信やスマート農業の更なる推進を目的として、10月30日、31日の両日、南大東村スマート農業実証コンソーシアムとの共催で「沖縄地域スマート農業サミット・南大東村現地検討会」を開催しました。

スマート農機の実演会では150人ほどの参加があり、自動操舵（さとうきびの植付け、ドローンによる生育状況の確認などについて、作業実演・紹介が行われました。

引き続き行われたシンポジウムでは、国の取組や実証事業に関する講演の後、全国でのスマート農業の取組事例やスマート農機の普及に向けた課題（低コスト化など）について、活発な意見交換が行われました。

沖縄総合事務局では、労働力不足の解消や農作業の軽労化などを図るため、スマート農業の社会実装に向けた取組を推進していきます。

農林水産部生産振興課

☎098-866-1653

那覇港国際クルーズ拠点整備事業起工式を開催 No.7



～「東洋のカリブ構想」実現へ 那覇港が官民連携による
国際クルーズ拠点形成に向けた第一歩を踏み出す～

【開発建設部】

事業の背景

沖縄を訪れる観光客数が好調に推移する中、那覇港へのクルーズ船の寄港需要も年々高まりを見せており、平成30年の寄港回数は243回と全国港別寄港回数で第2位となるなど、国内有数のクルーズ船寄港地へと発展してきました。

一方、船舶の大型化や現在、複数のクルーズ船が同時寄港する際は、やむを得ず貨物岸壁で受け入れており、旅客の安全性や円滑なCIQ（税関・入出国審査・検疫）手続き、さらには大型バスやタクシーなどの二次交通待機場の不足といった課題が指摘されていました。



那覇港国際クルーズ拠点整備事業

このような中、平成31年4月、那覇港は国土交通大臣から「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され、港湾管理者の那覇港管理組合と世界有数のクルーズ船社、MSC クルーズ社（以下 MSC）、ロイヤル・カリビアン・クルーズ社（以下 RCL）が連携して、国際クルーズ拠点形成に向けた取り組みをスタートしました。本事業では、新港ふ頭地区において、世界最大級22万トン級のクルーズ船に対応する岸壁、泊地などを国が、駐車場などを那覇港管理組合が、ターミナルビルを MSC、RCL が整備します。これにより、22万トン級のクルーズ船受け入れや複数船舶の同時寄港の際の安全かつ安定した受け入れが可能となり、旅客移動時の安全性や CIQ 手続きの効率化、さらには円滑な二次交通へのアクセスなど旅客の利便性が向上します。また、連携船社には岸壁の優先的な使用が認められ、官民一体となった取り組みにより、更なる観光振興が期待されます。

起工式の概要

11月10日（日）、赤羽一嘉国土交通大臣や地元選出国会議員の他、MSC 及び RCL など多くの関係者や来賓が出席し、内閣府 沖縄総合事務局と那覇港管理組合の共催で「那覇港国際クルーズ拠点整備事業」の起工式が開催されました。

赤羽大臣は「地理的優位性と豊富な観光資源を活かし、国内及び東アジア地域有数のクルーズ船寄港地となっている那覇港において、本事業は沖縄県が掲げる『東洋のカリブ構想』実現に向けて大きな一歩であり、令和4年春の供用を目指して、しっかりと取り組んでいく」旨、挨拶を述べられました。また、衛藤晟一内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策担当）の挨拶を原宏彰内閣府沖縄振興局長が代読し、「大きなポテンシャルを有する那覇港において、世界有数のクルーズ船社2社が優先使用権を活かし、歴史・文化・自然・食など、沖縄の魅力を存分に堪能できる素晴らしいクルーズツアーに繋げ、世界各地からのクルーズ客の集客に大きく貢献するものと期待している。内閣府として那覇空港第2滑走路を含め、港湾・空港の整備をしっかりと進め、沖縄の振興に全力を尽くす。」と述べられました。



赤羽国土交通大臣



原沖縄振興局長



記念撮影

開発建設部 港湾計画課 ☎098-866-1906



【経済産業部】

令和元年度下請取引適正化 推進講習会を開催しました

キャンペーン標語

「無茶な依頼 しないさせない 受け入れない」

No.8

経済産業部中小企業課では、県

内の製造業、サービス業等の下請事

業者の訪問、個別相談等を実施して

下請代金支払遅延等防止法、下請

中小企業振興法の法令遵守や違反

行為の是正指導、取引環境の実態

把握等を通して、より一層の下請取

引の適正化を図っております。特に

毎年11月は、下請取引適正化推進

月間として普及・啓発事業を集中

的に行っております。本月間事業の一

つとして11月18日(月)、那覇第2

地方合同庁舎2号館において、総務

部公正取引室と共同で下請取引適

正化推進講習会を開催しました。

講習会には42の企業から61人の担当

者が参加し、下請取引に適用される

法令の概要、中小企業の下請取引

条件改善に向けた施策や取組、働き

方改革の推進と下請取引、10月1

日から実施された消費税率10%の適

正な転嫁対策、下請かけこみ寺の事

業等の紹介を行いました。

今回、参加がかなわなかった方に

つきまして、下請取引に関するご

相談やご質問がございましたら、次

の相談窓口までお気軽にお問い合わせ

ください。

【相談窓口】

総務部公正取引室

☎098-866-0049

経済産業部中小企業課

☎098-866-11755

下請かけこみ寺

☎098-859-6237



講習会の様子



【経済産業部】

「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」 内閣府沖縄総合事務局長賞等を授与！

No.9

「地方創生☆政策アイデアコンテスト」は、地域経済分析システム(RESAS・リーサス)を活用してデータに基づく地域課題の分析を行い、地域を元気にするような政策アイデアを募集するコンテストです。地方審査・全国二次審査・最終審査を経て、地方創生担当大臣賞及び優秀賞などが選出されます。

今年度より、地方ブロックごとに特に優秀な政策アイデアに対して賞を授与することとなり、沖縄管内においては、内閣府沖縄総合事務局長賞、経済産業部長賞及び奨励賞を授与しました。各賞の受賞者及び作品名は次のとおりです。

内閣府沖縄総合事務局長賞

名桜大学RESAS研究会 様

「沖縄×美ら海×マルシェ」(分析対象地域…本部町)

経済産業部長賞

上原 峻輔 様(金沢大学)

「地域資源を活用した酒場&カフェ」(分析対象地域…那覇市)

奨励賞

金城 聡真 様(金沢大学)

「沖縄県八重瀬町 故郷の人口問題の提言」(分析対象地域…八重瀬町)

令和元年11月18日に開催した授与式では受賞者による発表も行われ、内閣府沖縄総合事務局長賞を受賞した名桜大学RESAS研究会からは、年間来訪者数約500万人の美ら海水族館と協力し、本部町の地域資源であるアセロラなどを活用して地域経済の活性化を図る政策アイデアが提案されました。



表彰式の様子



名桜大学RESAS研究会によるプレゼンテーション

当部では県内におけるRESASの普及を目的として出前講座を無料で実施しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

「RESAS」とは、Regional Economy (and) Society Analyzing System の略で、人口動態や産業構造、観光等の地域経済に関わる官民のビッグデータを可視化して提供するシステム。

経済産業部企画振興課

担当：長嶺・仲宗根・宮城・比嘉

☎098-866-11727

E-mail: resas-okinawa@meti.go.jp



【経済産業部】

令和元年度伝統的工芸品産業功労者等
沖縄総合事務局長表彰式及び
伝統的工芸品産業功労者等
経済産業大臣表彰伝達式を開催しました

No.10

11月26日に沖縄総合事務局にて令和元年度伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰式及び伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰伝達式を開催しました。

経済産業省では、昭和59年より毎年11月を伝統的工芸品月間と定め、伝統的工芸品に対する普及を啓発する事業を種々展開しております。その一環として、経済産業省と沖縄総合事務局におきましては、昭和59年以降、伝統的工芸品産業の振興及び伝統的工芸品の国民生活への浸透などに関し、顕著な功績を上げられた方々を表彰しております。

今年度は、経済産業大臣表彰功労者賞（組合役員）に壺屋陶器事業協同組合の小橋川昇氏、沖縄総合事務局長表彰功労者賞（組合役員）に知花花織事業協同組合の川上弘子氏、大城操氏、奨賞に知花花織事業協同組合の安



講演会の様子

花織事業協同組合の安



表彰式の様子

村 伊咲美氏、壺屋陶器事業協同組合の赤嶺肇幸氏、金城英樹氏がそれぞれ受賞されました。式終了後には、メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社 代表取締役社長 赤瀬浩成氏による「これからの伝統工芸士はどうあるべきか？」と題した講演会を開催し、沖縄の伝統的工芸品産業の動向や最新のトレンドなどをご紹介いただきました。

経済産業部地域経済課

担当：田畑・金城

098-866-1730

首里城火災の影響を受ける事業者の皆様からのご相談をお受けいたします（沖縄県よろず支援拠点）

令和元年10月31日に発生した首里城火災により、影響を受けられた事業者の皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

中小企業・小規模事業者などの皆様が抱える経営上のあらゆる悩みに対する無料相談所「沖縄県よろず支援拠点」は相談窓口を設置し、首里城火災による観光客減少などの影響を受ける中小企業・小規模事業者などの皆様からのご相談に対応しております。

「首里城火災」に関する中小企業相談窓口（沖縄県よろず支援拠点内）

- ・受付時間： 月～金（祝祭日を除く）9：00～19：00
土曜日（祝祭日を除く）9：00～17：00
- ・TEL： 098-851-8460
- ・E-Mail： contact@yorozu.okinawa
- ・住所： 那覇市字小禄 1831 番地 1 沖縄産業支援センター 4F（414 号室）

※相談は何度でも無料です



より詳細な情報は沖縄県よろず支援拠点のウェブサイトをご確認ください

<https://yorozu.okinawa/>



内閣府だより

「首里城復元のための関係閣僚会議」



第1回「首里城復元のための関係閣僚会議」
(出典：首相官邸ホームページ (https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201911/06syurijo.html))

令和元年 10 月 31 日に首里城で火災が発生し、正殿等が焼失しました。政府は、11 月 5 日に「首里城復元のための関係閣僚会議」を設置して議論を重ね、12 月 11 日に「基本的な方針」を決定しました。沖縄総合事務局に技術的な検討の場を設けて検討を進めるとともに、本年度内を目途に、首里城正殿等の復元に向けた工程表の策定を目指します。

衛藤大臣 首里城火災現場視察



首里城火災現場の視察



沖縄総合事務局での状況聴取

衛藤大臣は火災発生直後の 11 月 4 日に首里城の火災現場を視察しました。

衛藤大臣は翌日の閣僚懇談会において視察の結果を報告し、沖縄の方々の思いを受け止めながら首里城の復元に取り組んでいく考えであることを述べました。

「かりゆしウェア」テキスタイルデザインコンテスト2019 開催



前回の最優秀賞「パーントゥ」(右)と
パーントゥ柄のかりゆしを着る宮腰前大臣(左)

沖縄の知られざる魅力を発信するサイト「OKINAWA41」(内閣府運営)では、今年も「かりゆしウェア」テキスタイルデザインコンテストを開催しています！

皆様の考える「沖縄らしさ」を表したデザインをお待ちしています。
首里城への思いを表したデザインも大歓迎です！
(募集締切は 1 月 5 日です。)

最優秀賞のデザインは実物のかりゆしウェアになります。
右の QR コードか、URL (<https://www.okinawa41.go.jp/>) からどうぞ！

またこのサイトでは首里城復元に向けた取組も発信していきますので、是非ご覧ください。
URL (<https://www.okinawa41.go.jp/shurijo/>)



海洋博公園
OCEAN EXPO PARK

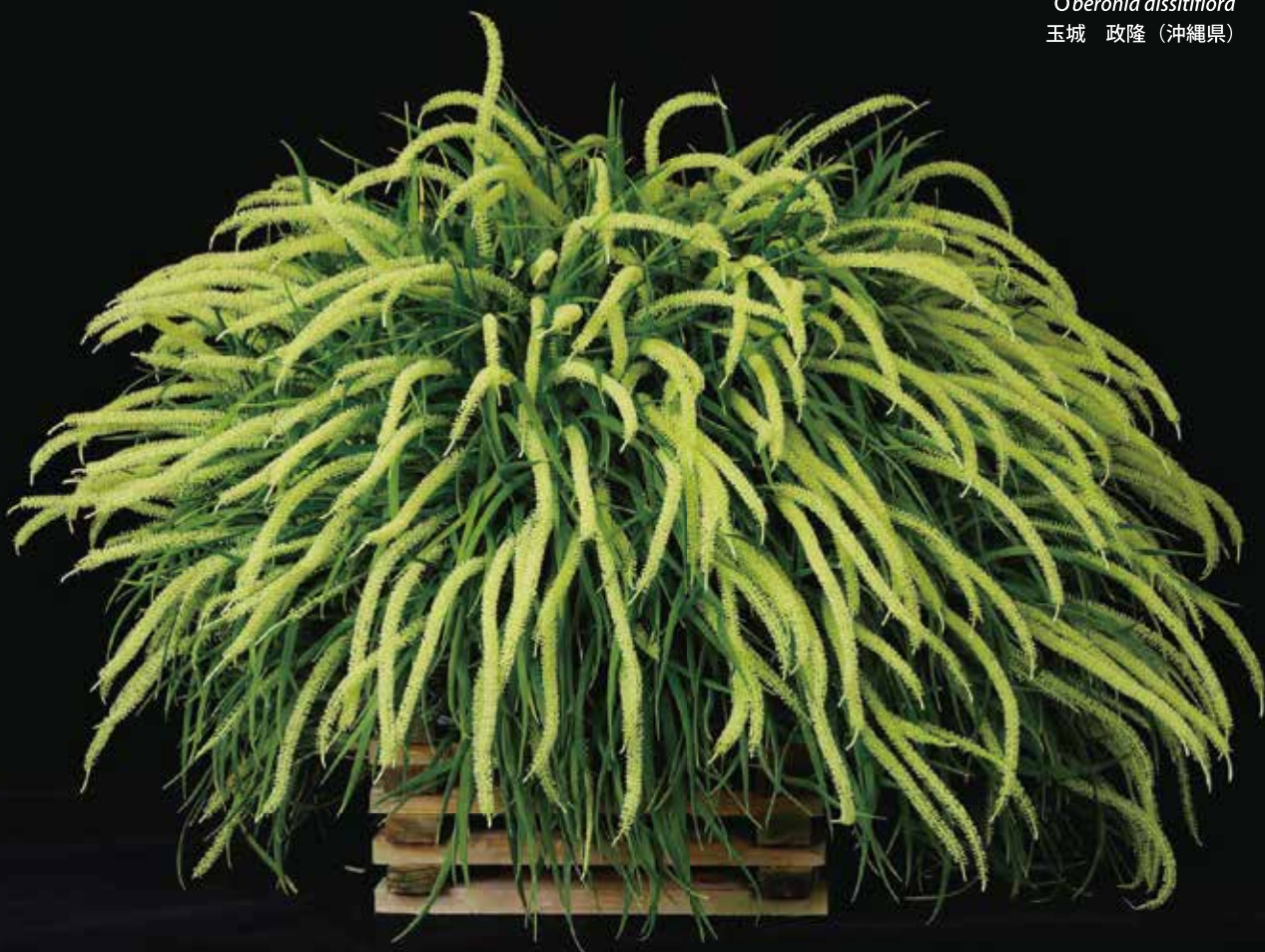


OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2020

沖縄国際洋蘭博覧会

2020年2月1日[土]ー2月11日[火・祝]

沖縄国際洋蘭博覧会2019大賞株
(内閣総理大臣賞)
Oberonia dissitiflora
玉城 政隆 (沖縄県)



海洋博公園 熱帯ドリームセンター | 午前8時30分～午後5時30分(入館締切は午後5時)



[お問い合わせ] 海洋博公園管理センター 植物課

TEL: 0980-48-2741 (代) FAX: 0980-48-3785

～ 美ら島の未来を拓く～

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>

広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。